

## I 速板「プリ」とモニターを利用した授業事例

### 1. 生徒の実態

- 。 高等部
- 。 弱視 2名

### 2. 目的

弱視生が黒板を見ることが困難であるため、黒板の代わりにiPadとモニターを使用し、円滑に授業を進めること。

### 3. 利用機器

- o iPad2
- 。 モニター
- 。 VGAアダプタ
- 。 RGBケーブル



### 4. 使用アプリ

- 。 黒板

### 5. 経緯・施行経過

昨年度と同様で、教科は数学で、以前は黒板の文字を大きく書くなど工夫をし、授業を行っていたが、スムーズに授業をすることは難しいと考えられた。そこで、iPadを利用することにより、手で板書が行われるため、以前より容易に板書の文字を読み取ることができるようになった。

しかし、今回は前回と違い対象生徒が2名のため、黒板のbluetooth機能のみは生徒1名しか使用できないので、片方のiPadにVGAアダプタというRGB変換ケーブルを使用し、モニターに映し出すことで1対1でしか使用できない点を改善した。

また、前回と同様で書かれた画面は画像として保存することが可能であるので、後々見直すことが可能であるため、生徒がノートを取り損じるということがないのも生徒に好評である。

### 6. まとめと課題

今回のモニターを使用することにより、前回の1対1でしか対応できないという点は改善でき、2名の生徒も見やすいと好評である。

iPadにVGAアダプタを使用することにより1対多数が可能にはなったが、2、3名ならば問題ないが、それ以上になったりするとケーブルの長いものが必要になったり、そのケーブルが邪魔になったりする。現状では少数人数の授業であるためそのような心配はないが、もし多数を想定すると現在の状況では難しいと考えられる。また、昨年同様アプリでもまだ1対多数のものが見当たらないので、授業で使うことは難しいと考えられる。

